

社会資本総合整備計画

大久保駅周辺地区 都市再生整備計画
(第4回変更)

平成 28 年 12 月 26 日

京都府 宇治市

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

平成28年12月26日

計画の名称

大久保駅周辺地区都市再生整備計画

重点配分対象の該当

☐

計画の期間

平成24年度 ～ 平成29年度（6年間）

交付対象

宇治市

計画の目標

大目標

：水やみどりの自然と調和する、利便性の高いまちづくり ～大久保の魅力の更なる向上～

目標1

歩いて楽しい大久保づくり

目標2

来やすい・行きやすい大久保づくり

目標3

円滑に乗換えや移動ができる歩行経路づくり

計画の成果目標（定量的指標）

①

路上K&R台数

②

生活道路の自動車交通量

③

名木川流下能力

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

備考

当初現況値
(H26当初)

中間目標値

最終目標値
(H29末)

①

ピーク時(7：00～9：00、17：00～19：00)の路上でのK&R自動車台数

612

0

②

整備前後の自動車交通量N台/12時（7:00～19:00)

541

350

③

改修前の流下能力Qと改修後のQ'の倍率(Q' /Q)

1.0

2.5

全体事業費

合計
(A+B+C+D)

931.9 百万円

A

931.9 百万円

B

0 百万円

C

0 百万円

D

0 百万円

効果促進事業費の割合
C/（A+B+C+D)

0.0%

交付対象事業

A 基幹事業

番号

事業
種別

地域
種別

交付
対象

直接
間接

事業者

要素となる事業名
(事業箇所)

事業内容
(延長・面積等)

市町村名

事業実施期間（年度）

全体事業費
(百万円)

費用便益比

個別施設計画
策定状況

備考

H24

H25

H26

H27

H28

H29

A-1

都市再生

一般

宇治市

直接

宇治市

大久保駅周辺地区都市再生整備計画事業

道路、河川等 約80ha

宇治市

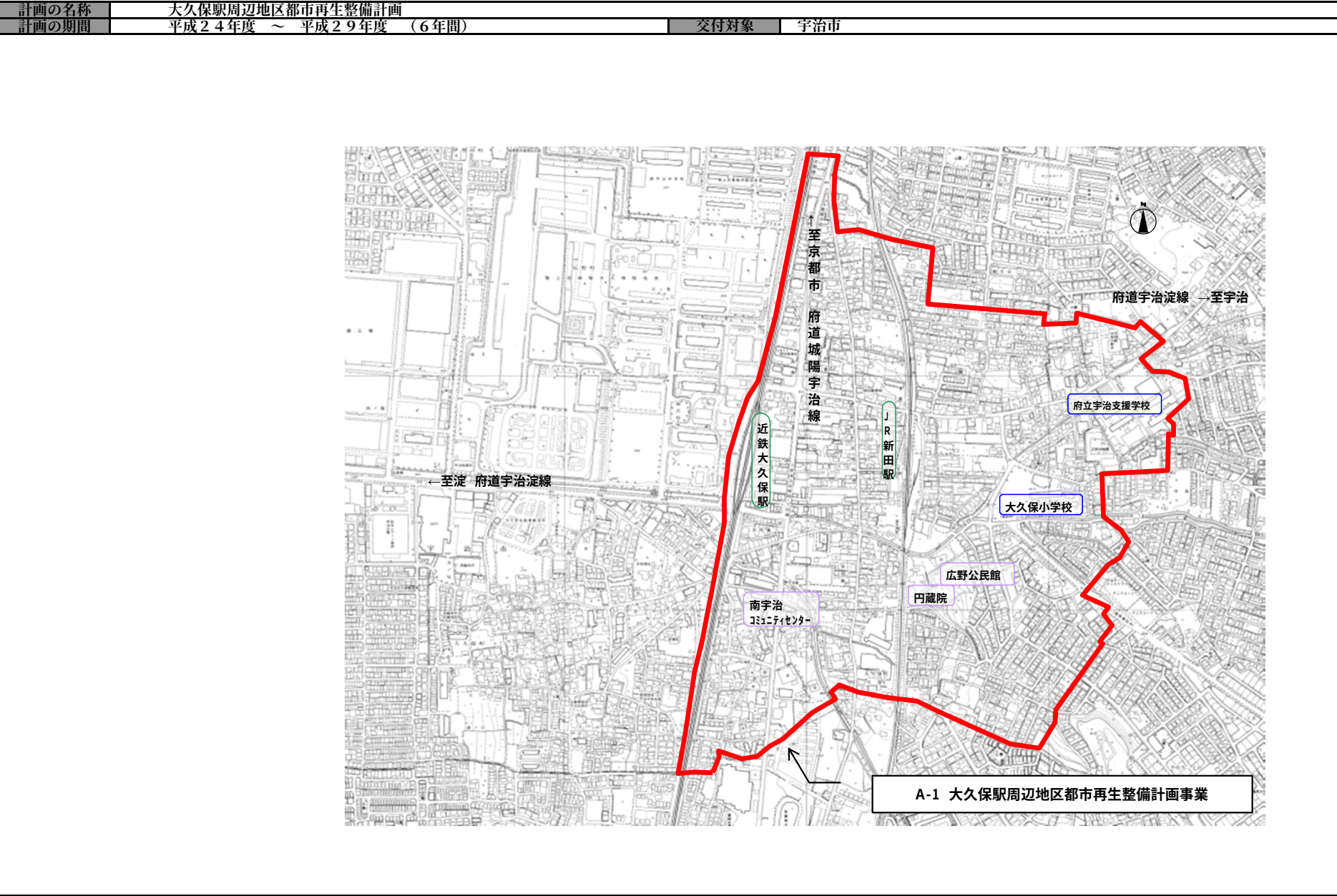
931.9

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29
配分額 (a)	128.9	128.3	14.5	38.2	128.9	
計画別流用 増△減額 (b)	0.0	△ 88.8	0.0	0.0	0.0	
交付額 (c=a+b)	128.9	39.5	14.5	38.2	128.9	
前年度からの繰越額 (d)	0.0	28.6	0.0	5.1	8.5	
支払済額 (e)	100.3	68.1	9.4	34.8		
翌年度繰越額 (f)	28.6	0.0	5.1	8.5		
うち未契約繰越額 (g)	0.0	0.0	3.2	0.0		
不用額 (h=c+d-e-f)	0.0	0.0	0.0	0.0		
未契約繰越＋不用率 (h=(g+h)/(c+d))	0%	0%	22.1%	0.0%		
未契約繰越＋不用率が10%を越えている場合その理由			地元協議に難航し工事が未契約繰越となったため。			

参考図面（社会資本整備総合交付金）



都市再生整備計画（第4回変更）

おおくほえきしゅうへんちく
大久保駅周辺地区

きょうとふ うじし
京都府 宇治市

平成28年12月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都道府県名	京都府	市町村名	宇治市	地区名	大久保駅周辺地区	面積	約80 ha
計画期間	平成 24 年度 ～ 平成 29 年度	交付期間	平成 24 年度 ～ 平成 29 年度				

目標1 歩いて楽しい大久保づくり
目標2 来やすい・行きやすい大久保づくり
目標3 円滑に乗換えや移動ができる歩行経路づくり

まちづくりの経緯及び現況

- ・近鉄大久保駅周辺は宇治市の南西部に位置し、豊臣秀吉の伏見城築造と共に造られた大和街道と、それ以前の主要街道であった奈良街道が会合した箇所であり古くから交通の要衝として栄えてきた。
- ・明治から昭和初期にかけて鉄道2本が開通し、近年においては、大阪、京都市内への通勤エリアとして周辺部の宅地化が進むにつれ、バス交通網も充実してきたことから、近鉄大久保駅を中心に城陽市、久御山町、宇治田原町などを結ぶ交通結節点としての発達に加えて商業地としても発展がみられた。
- ・その後、モータリゼーションの普及に伴い大規模商業施設の郊外出店が相次ぎ、中心商業地の衰退が深刻化すると共に駅周辺の幹線道路における交通渋滞が慢性化するなど、多くの課題が生じてきたことから総合的なまちづくりを進める必要性が高まってきた。
- ・そこで、近鉄大久保駅の高架事業を進める一方で、市街地再開発事業への取り組みを進めてきたが、この取り組みは経済事情等から平成13年に準備組合が解散するなど、実現にはいたっていない。
- ・そこで本市では、平成16年度から整備構想の策定に取り組み、市民や地域住民46名が組織する「大久保まちづくりワークショップ」において、タウンウォッチングや交通バリアフリー点検などを通して地域の課題を発見すると共に、市民による解決方策の提案を受けて「整備構想策定委員会」において検討を進め、平成18年度には、まちづくりの目標や整備方針等を示す「大久保駅周辺地区整備構想」の策定に至った。
- ・また、地区の現況としては、みどりが多く残る名木川をはじめ、上流には宇治市植物公園や山城総合運動公園など自然に親しめる空間が身近にあり、住環境としては比較的恵まれている。
- ・一方で、JR新田駅と近鉄大久保駅が約300mの距離を隔てて向かい合い、その間に挟まれた商業地は人が行き交う地域にもかかわらず、安全で魅力的な歩行空間が不足しており、かつての賑わいは見られない。
- ・また、商業地と駅などに向かう歩行経路についても安全性が不足しており、これからの高齢化社会にふさわしいまちづくりが求められている。また、幹線道路の交通量不足や路切による交通渋滞が慢性化しており、バイパス道路の建設やこれらを活用したバス路線の充実並びに駅前広場の整備による交通結節機能の向上が求められている。
- ・平成19年からの5年間の計画期間で大久保駅周辺地区（第1期）都市再生整備計画事業を実施し、近鉄大久保駅前広場の整備、名木川散策歩道の整備、バリアフリー特定経路など地域課題の解決を図る整備を実施するものの、駅前広場の整備に伴う周辺施設の充実、名木川河川改修や散策道のネットワーク化の更なる充実が求められている状況にあり、これまで実施してきた各種事業を活かしながら、継続的にまちづくりを進めていくことが必要な状況にある。
- ・JR新田駅駅舎新設に伴い、一般車両乗降場整備等による交通結節点機能の向上や、周辺道路における安全で快適な歩行空間の充実が必要な状況にある。

大久保駅周辺地区(第1期)都市再生整備計画の事後評価では一定の効果がみられたものの、以下の課題への対応が求められている。

- ①整備済みの近鉄大久保駅前広場周辺に一般車両乗降場、駐車場などの整備により、駅前広場のターミナル機能の更なる向上が求められている。【目標1・2・3】
②沿道利用に必要な側道整備や案内標識の整備により、安全で快適な歩行空間の充実が求められている。【目標1・2】
③津河川名木川の河川改修の計画的事業実施により、治水能力の向上や散策歩道のネットワーク充実が求められている。【目標1】
④JR新田駅周辺での一般車両乗降場の整備や、安全で快適な歩行空間の充実などが求められている。【目標1・2・3】

○宇治市第5次総合計画
基本構想：土地利用のイメージとして、大久保地区はJR奈良線や近鉄京都線の鉄道、国道24号、京都府道城陽宇治線や宇治淀線など幹線道路がとおり交通の利便性が高いことから、住宅・商業・工業等、多様な土地利用がなされています。これらの機能を有機的に結びつけた広域的かつ多機能をまちを形成する地域とします。また、地区内の緑を保全しながら、さらに利便性を高め、本市の南の玄関口にふさわしいまちづくりを形成する地域とします。

○宇治市都市計画マスタープラン
水やみどりの自然と調和する、利便性の高いまちづくり。

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
1.路上K & R台数	台	ピーク時(7:00～9:00、17:00～19:00)の路上でのK & R自動車台数	乗換え・移動の快適性及び歩行空間の充実等の効果をK & R自動車台数の減少で計測する。(路上でのK & Rを解消し、0台を目標とする。)	612	H23	0	H29
2.生活道路の自動車交通量	台/12h	整備前後の自動車交通量N台／12時(7:00～19:00)	来やすさ・行きやすさを向上する交通改善等を図った効果を、狭い生活道路を通過する自動車交通量の減少で計測する。	541	H23	350	H29
3.名木川流下能力	倍	改修前の流下能力Qと改修後のQ'の倍率(Q'/Q)	歩行空間の充実と安全・便利な大久保づくりの前提となるまちの安全性確保の効果を名木川の流下能力の向上により計測する。(名木川の全体設計にもとづく流下能力の確保を目標とする。)	1.0	H23	2.5	H29

都市再生整備計画の整備方針等

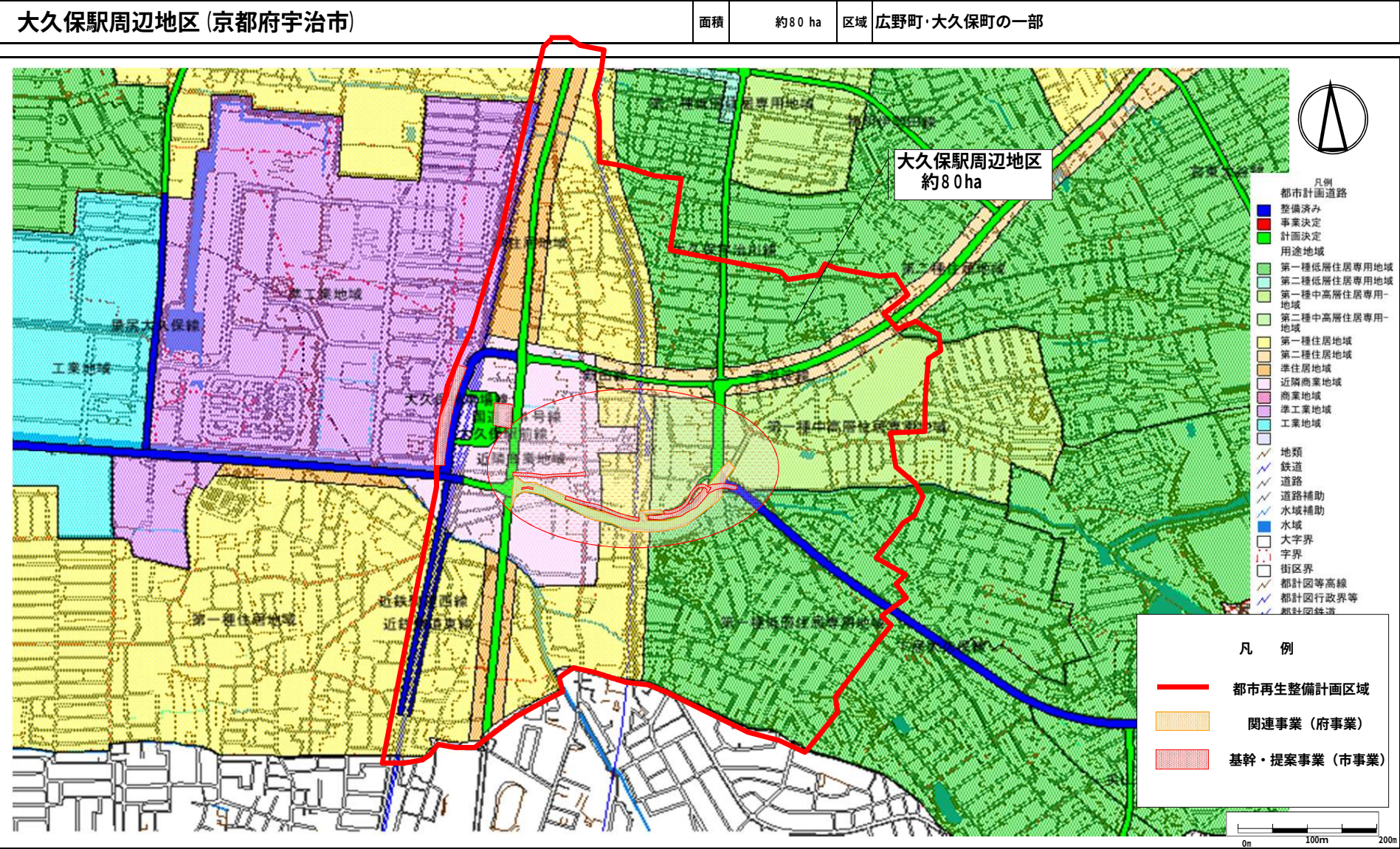
計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
☐ 目標1;歩いて楽しい大久保づくり ・第1期で整備した歩行空間等をいかしながら、より楽しく・快適に歩くことのできる道路整備および歩行者環境整備等を実施する。		●道路(城陽宇治線歩道整備) ●地域創造支援(緊急車両通路整備) ●地域創造支援(駅間誘導案内) ●河川(名木川) ●高質空間(名木川修景施設) ●高質空間(新田城陽線整備) ○関連事業(宇治淀線)
☐ 目標2;来やすい・行きやすい大久保づくり ・大久保駅周辺への来やすさ・行きやすさをさらに高めるために、通過交通の排除や駐車場の適正確保等を実施する。		●道路(宇治淀線北側側道) ●地域創造支援(広野町14号線) ●道路(広野町176号線整備) ●高質空間(広野町176号線整備) ○関連事業(市営駐車場)
☐ 目標3;円滑に乗換えや移動ができる歩行経路づくり ・駅前広場の利便性を更に高めるほか、整備済み区間を活用しながら歩行者ネットワークの充実を図るために、一般車両の乗降場整備等を実施する。		●道路(一般車両乗降場) ●高質空間(シェルター等) ●地域生活基盤施設(広場整備)

その他

- 継続的なまちづくりの活動の支援
- 完成した都市施設(歩行空間等)の有効活用を図るための、地域主体の取組みを支援する。

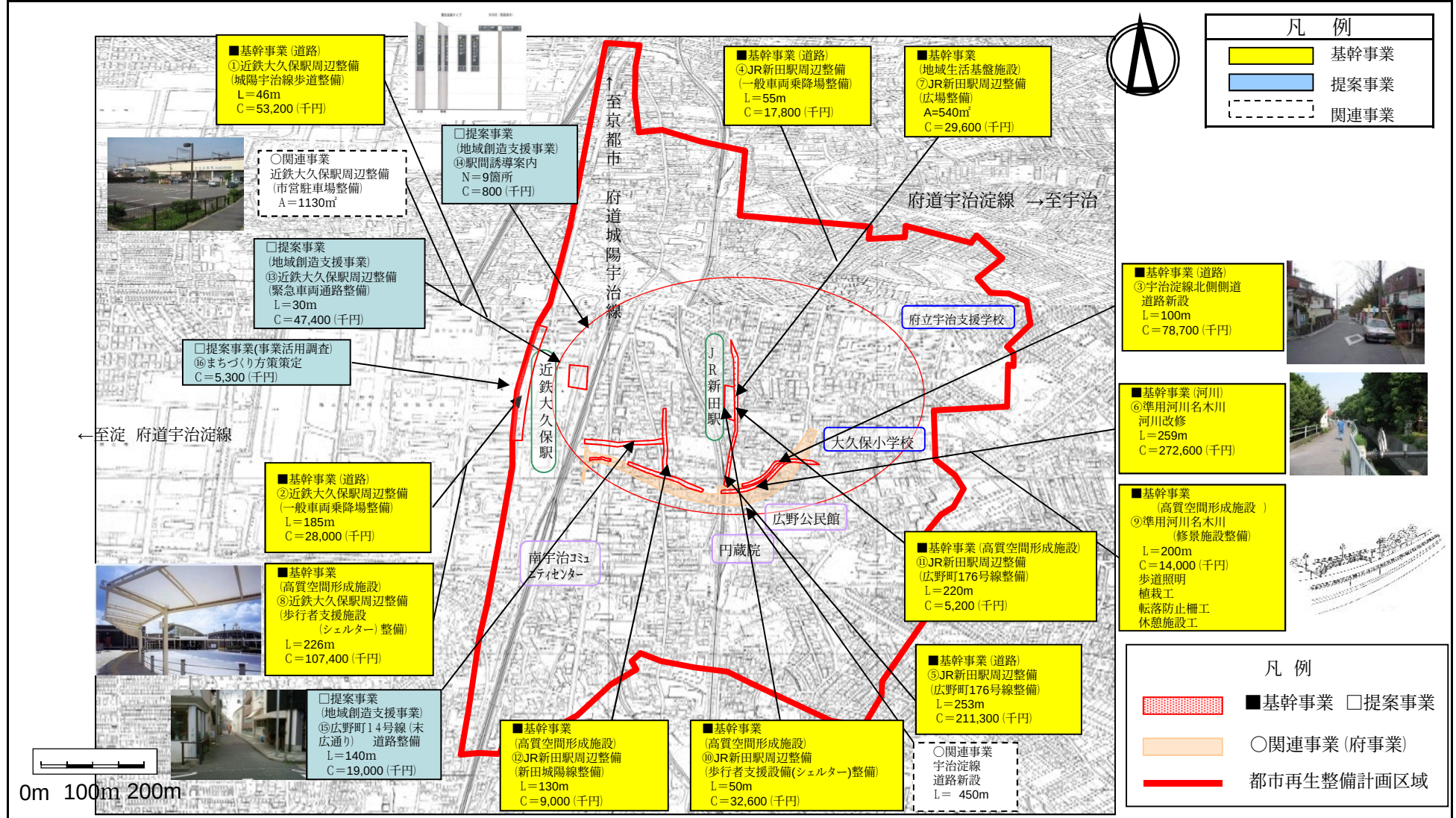
[illegible]

都市再生整備計画の区域



大久保駅周辺地区(京都府宇治市) 整備方針概要図

目標	目標1: 歩いて楽しい大久保づくり	代表的な指標	路上K&R台数	台	612 (23年度) → 0 (29年度)
	目標2: 来やすい・行きやすい大久保づくり		生活道路の自動車交通量	台/12h	541 (23年度) → 350 (29年度)
	目標3: 円滑に乗換えや移動ができる歩行経路づくり		名木川流下能力	倍	1.0 (23年度) → 2.5 (29年度)

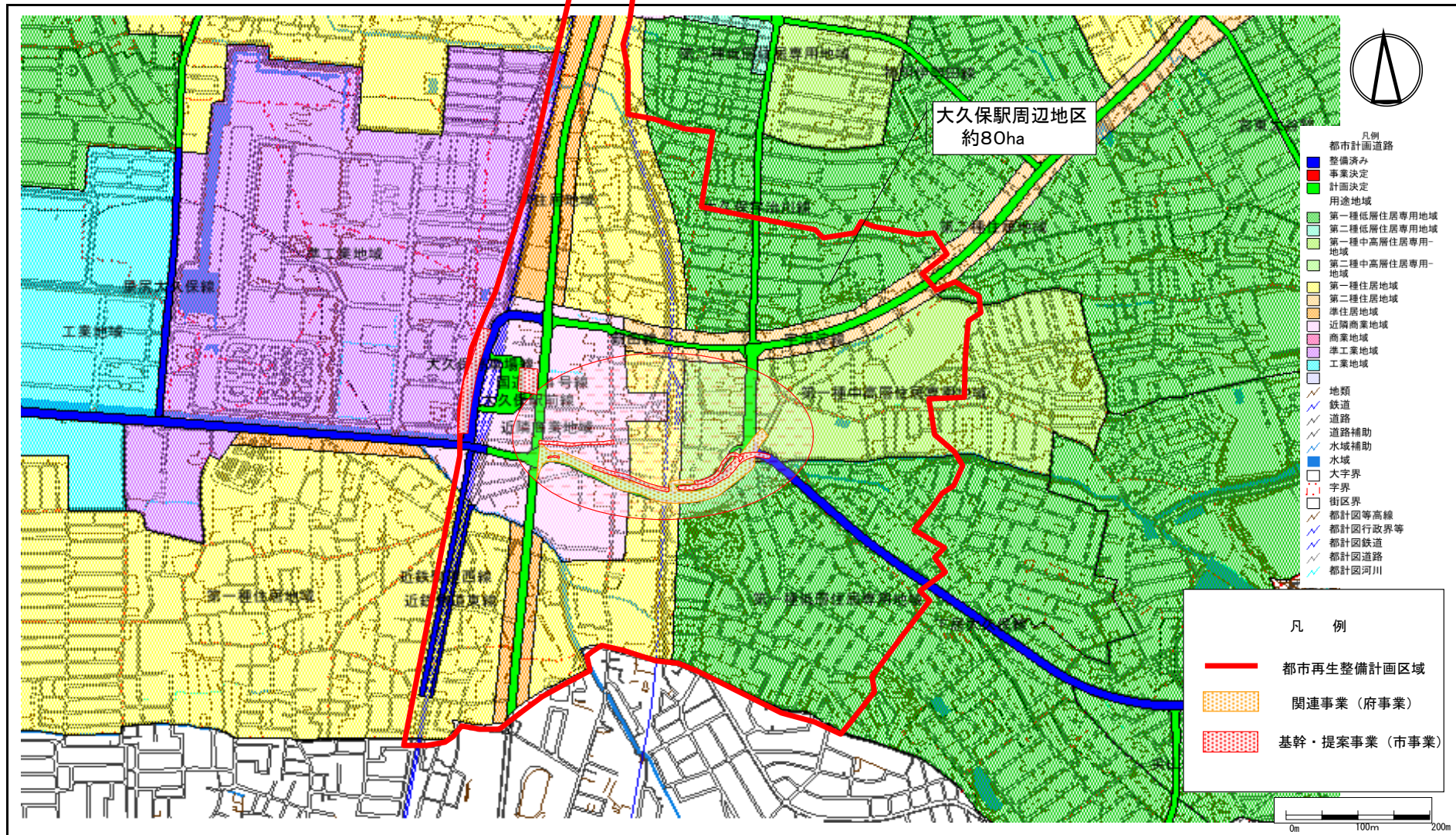


都市再生整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

おお く ぽ えきしゅうへん ち く きょう と ふ う じ し
大久保駅周辺地区（京都府宇治市）

大久保駅周辺地区(京都府宇治市) 現況図



交付限度額算定表(その1)

大久保駅周辺地区(京都府宇治市)

要綱第Ⅲ編イ-10-(1)に掲げる式による交付限度額(X)	372.7 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	65,257.0 百万円	X≦Yゆえ、本計画における交付限度額	372.7 百万円
-------------------------------	-----------	-----------------------	--------------	--------------------	-----------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

Au	360,000 m ²
----	------------------------

公共施設の上限整備水準

区域面積(m ²)	800,000
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	
区域の面積が10ha未満の地区	0.50
○ 最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.45
その他の地域	0.40

Cl	624,200 円/m ²
----	--------------------------

単位面積あたりの標準的な用地費

標準地点数	2
公示価格の平均値(円/m ²)	149,000

単位面積あたりの標準的な補償費

当該区域内の戸数密度(戸/m ²)	0.003
標準補償費(円/戸)	44,000,000

Cf	23,000 円/m ²
----	-------------------------

控除額	3,000 百万円
-----	-----------

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設

施設名(事業名)	面積(m ²)	国庫補助事業費等(百万円)
宇治淀線臨時交付金事業	8100	3000
合計	8100	3000

要綱第5に掲げる式による限度額算定

<社会資本整備総合交付金>

交付対象事業費	基幹事業(A)	859.4 百万円
	提案事業(B)	72.5 百万円
	合計	931.9 百万円

Ap	155220 m ²
----	-----------------------

公共施設の現況整備水準

整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定	
推定現況整備水準(小数第2位まで)	
推定公共施設面積(m ²)	0

○ 個別公共施設の積み上げ	
---------------	--

	面積(m ²)	割合
道路	140,820	0.18
公園	3,300	0
広場	7,000	0.01
緑地	4,100	0.01
公共施設合計	155,220	0.19

Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1)	64766 百万円
----------------------	-----------

ΣCn	980,500,000 円
-----	---------------

下水道	0 円
区域面積(m ²)	800,000
うち現況の供用済み区域面積(m ²)	800,000
標準整備費(円/m ²)	3,600

地域交流センター等の公益施設(建築物)	0 円
上限床面積(m ²)	9,400
標準整備費(円/m ²)	529,000

調整池	0 円
調整池の容積(m ³)	
標準整備費(円/m ³)	140,000

○ 河川	980,500,000 円
河川整備延長(m)	265
標準整備費(円/m)	3,700,000

住宅施設	0 円
------	-----

建設予定戸数(戸)	超高層	
	一般	
	合計	0

標準整備費(円/戸)	超高層	一般
	北海道特別地区	41,310,000 33,500,000
	北海道一般地区	38,190,000 30,990,000
	特別地区	49,120,000 35,690,000
	大都市地区	37,170,000 30,180,000
	多雪寒冷地区	41,510,000 32,370,000
	奄美地区	39,520,000 35,640,000
	沖縄地区	30,280,000 30,280,000
	一般地区	33,700,000 28,640,000

市街地再開発事業による施設建築物	0 円
------------------	-----

施設建築物の延べ面積(m ²)	
標準共同施設整備費(円/m ²)	132,000

電線共同溝等	0 円
--------	-----

電線共同溝等延長(m)	
標準整備費(円/m)	680,000

人工地盤	0 円
------	-----

人工地盤の延べ面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等	0 円
------------------	-----

大規模構造物等	協議状況	整備費(円)

Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2)	65257 百万円
---------------------	-----------

- 要綱第Ⅲ編イ-10-(1) 3)式の適用[提案事業2割拡充]
- 平成20年度二次補正予算の執行
- 要綱第Ⅲ編イ-10-(1) 4)式の適用[中活等の45%拡充]
- 要綱第Ⅲ編イ-10-(1) 5)式・6)式の適用[リノベ事業の50%拡充]

交付限度額算定表(その2)

大久保駅周辺地区(京都府宇治市)

要綱第三編イ-10-(1)に掲げる式による限度額算定(詳細)

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(百万円単位)

単位:百万円

○交付対象事業費(必ず入力) (百万円) (百万円)

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	859.400	A (事業費)	1)式で求まる額(4/10*(A+B))	372.760	① (国費)
	提案事業合計(B)	72.500	B (事業費)	2)式で求まる額(5/9*A)	477.444	② (国費)
	合計(A+B)	931.900	(事業費)	上記①、②の小さい方	372.760	③ (国費)
	提案事業割合(B/(A+B))	0.078		国費率(③÷(A+B))	0.400	④ (国費率)

○拡充の有無

以下の3つの拡充のうち、いずれかの拡充がある場合は、該当する欄に○を記入し、事業費等を入力。

・3)式の適用[提案事業2割拡充]		(選択)	⇒	3)式で求まる額(5/8*A)	0.000	⑤ (国費)
・平成20年度二次補正予算の執行		(選択)		3)式の適用後(適用がある場合は3式反映)	372.760	⑥ (国費)
・4)式の適用[中活等の45%拡充]		(選択)		3)式適用後の国費率(⑥÷(A+B))	0.400	⑦ (国費率)

○拡充がある場合の事業費等

平成20年度二次補正の執行がある場合及び4)式の適用がある場合は、以下に事業費等を入力。

平成20年度二次補正の執行がある場合	防災対象事業(A')		A' (事業費)	③をA'に置き換えた額(A⇒(A-A')+9/8*A')	372.760	⑧ (国費)
	補正予算の執行額		(国費)	⇒ 執行額を足した額	372.760	⑨ (国費)
				補正適用後(上記⑧、⑨の小さい方)	372.760	⑩ (国費)
				補正適用後の国費率(⑩÷(A+B))	0.400	⑪ (国費率)

4)式の適用を受ける場合	計画の認定等の年度末までの執行事業費(F)		F (事業費)	⇒ 適用前の国費率(⑩÷(A+B))	0.400	⑫ (国費率)
	適用対象となる交付対象事業費(A''+B'')	0.000	(事業費)			
	適用対象となる基幹事業合計(A'')		A'' (事業費)	⇒ 適用対象事業費から求まる限度額	0.000	⑬ (国費)
	適用対象となる提案事業合計(B'')		B'' (事業費)	⇒ 適用後の国費率(⑬÷(A''+B''))	#DIV/0!	⑭ (国費率)
	適用対象事業のうち翌年度以降の執行事業費(H)		H (事業費)	4)式適用後の限度額(⑫×F+⑭×H)	#DIV/0!	⑮ (国費)

※4)式の適用を受ける場合で、経過措置を適用しない場合(H21以降新規地区)は、Fの欄を記入せず、A''、B''を記入し、A''=A、B''=B、H=A''+B''=A+Bとなる。

↓

拡充も考慮した交付限度額	372.760	⑯ (国費)
--------------	---------	--------

○交付限度額、国費率の算出

交付対象事業費(A+B)	931.9	(事業費)	⇒ 交付要綱第5に基づく交付限度額(⑯を1万円の位を切り捨て)	372.7	⑰ (国費)
			国費率	0.400	⑱ (国費率)

様式8 年次計画

大久保駅周辺地区(京都府宇治市)
(事業費:百万円)

基幹事業										
事業	事業箇所名		事業主体	交付対象 事業費	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	事業	細項目								
道路	近鉄大久保駅周辺整備(城陽宇治線歩道整備)		宇治市	53.2	53.2					
	近鉄大久保駅周辺整備(一般車両乗降場整備)		宇治市	28.0		28.0				
	宇治淀線北側側道		宇治市	78.7		11.5	7.1	60.1		
	JR新田駅周辺整備(一般車両乗降場整備)		宇治市	17.8				4.3		13.5
	JR新田駅周辺整備(広野町176号線整備)		宇治市	211.3					137.7	73.6
公園										
古都保存・緑地保全等事業										
河川	準用河川名木川		宇治市	272.6	118.0	20.4	112.0	22.2		
下水道										
駐車場有効利用システム										
地域生活基盤施設	JR新田駅周辺整備(広場整備)		宇治市	29.6				4.9	8.0	16.7
高質空間形成施設	近鉄大久保駅周辺整備(歩行者支援設備(シェルター)整備)		宇治市	107.4		107.4				
	準用河川名木川(修景施設整備)		宇治市	14.0			7.7		6.3	
	JR新田駅周辺整備(歩行者支援設備(シェルター)整備)		宇治市	32.6						32.6
	JR新田駅周辺整備(広野町176号線整備)		宇治市	5.2				2.2		3.0
	JR新田駅周辺整備(新田城隈線整備)		宇治市	9.0					9.0	
高次都市施設										
中心拠点誘導施設										
連携生活拠点誘導施設										
生活拠点誘導施設										
高齢者交流拠点誘導施設										
既存建造物活用事業										
土地区画整理事業										
市街地再開発事業										
住宅街区整備事業										
バリアフリー環境整備促進事業										
優良建築物等整備事業										
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型									
	沿道等整備型									
	密集住宅市街地整備型									
	耐震改修促進型									
街なみ環境整備事業										
住宅地区改良事業等										
都心共同住宅供給事業										
公営住宅等整備										
都市再生住宅等整備										
防災街区整備事業										
計				859.4	171.2	167.3	126.8	93.7	161.0	139.4

提案事業										
事業	事業箇所名		事業主体	交付対象 事業費	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	事業	細項目								
地域創造 支援事業	緊急車両通路整備		宇治市	47.4	47.4					
	駅間誘導案内整備		宇治市	0.8				0.8		
	道路整備		宇治市	19.0		2.0	17.0			
事業活用 調査	まちづくり方策策定		宇治市	5.3						5.3
まちづくり活動 推進事業										
計				72.5	47.4	2.0	17.0	0.8	0.0	5.3
合計				931.9	218.6	169.3	143.8	94.5	161.0	144.7
累計進捗率(%)					23.5%	41.6%	57.1%	67.2%	84.5%	100.0%

(参考)都市機能立地支援関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度
合計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
累計進捗率(%)				#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

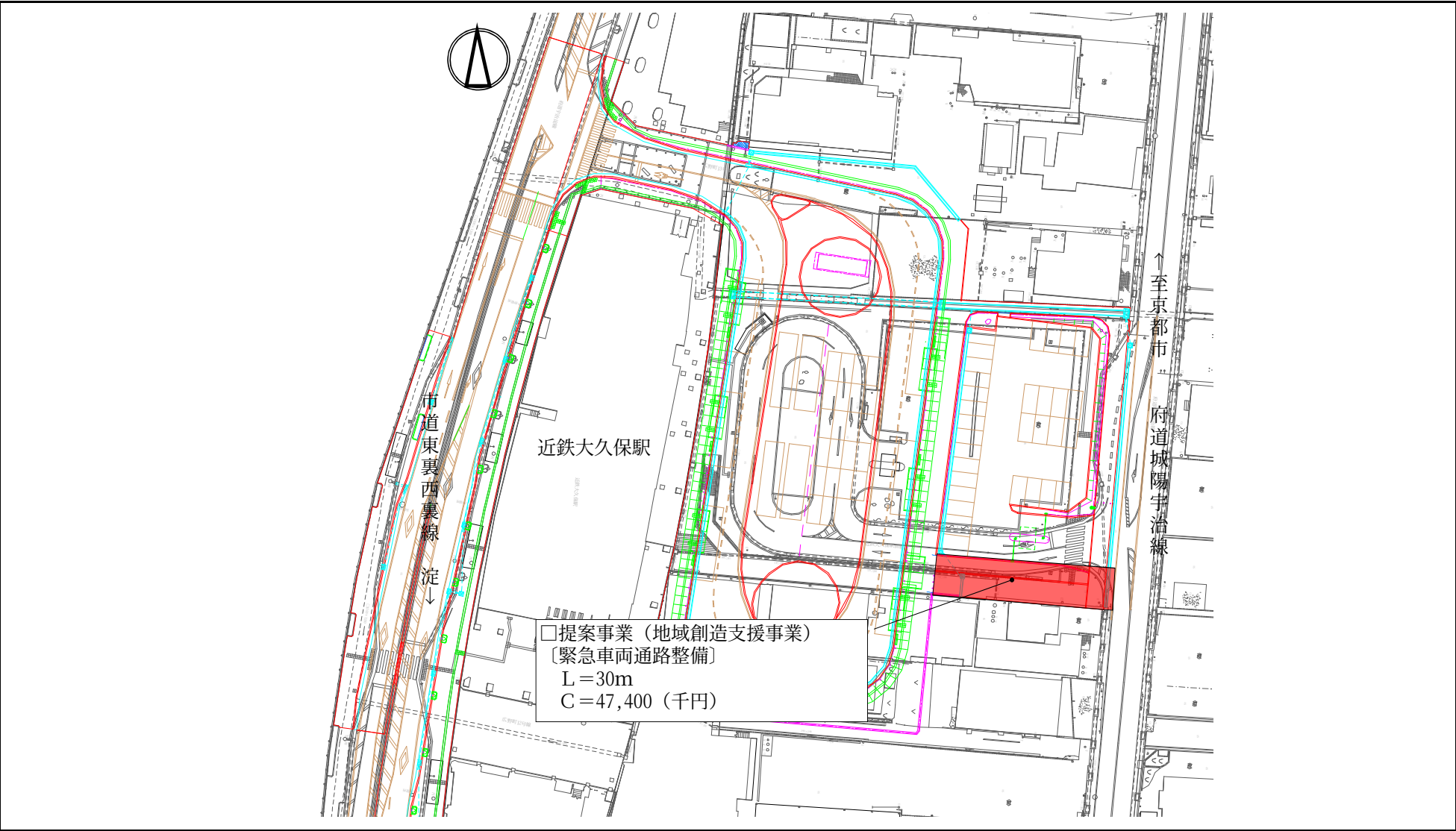
事業活用調査・まちづくり活動推進事業・地域創造支援事業

(单位:百万円)

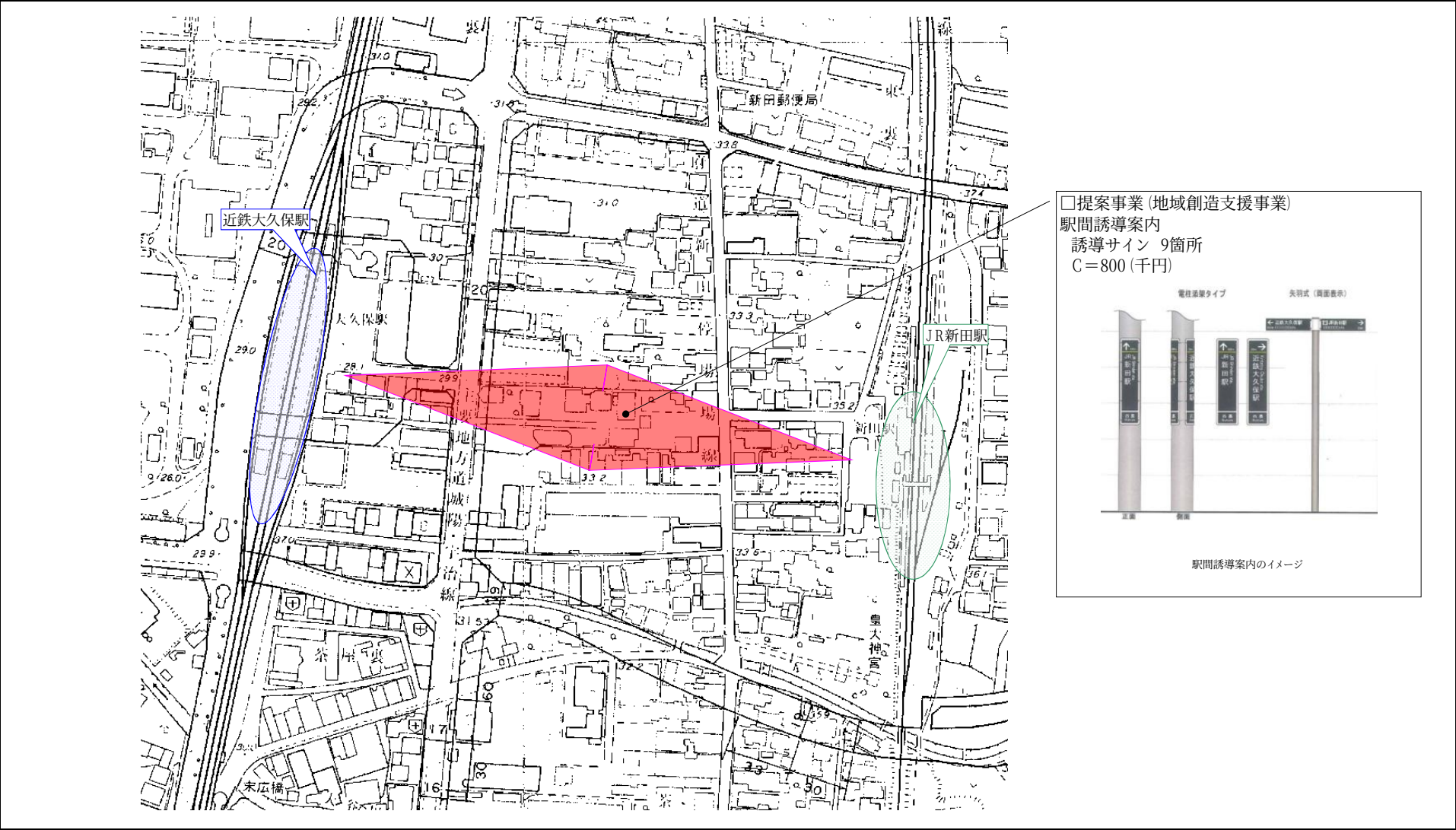
[illegible]

整備参考イメージ

⑬	□提案事業 (地域創造支援事業) 緊急車両通路整備	事業費	47. 4百万円	事業期間	平成24年度
---	---------------------------	-----	----------	------	--------



⑭	□提案事業(地域創造支援事業) 駅間誘導案内	事業費	0.8百万円	事業期間	平成27年度
---	------------------------	-----	--------	------	--------



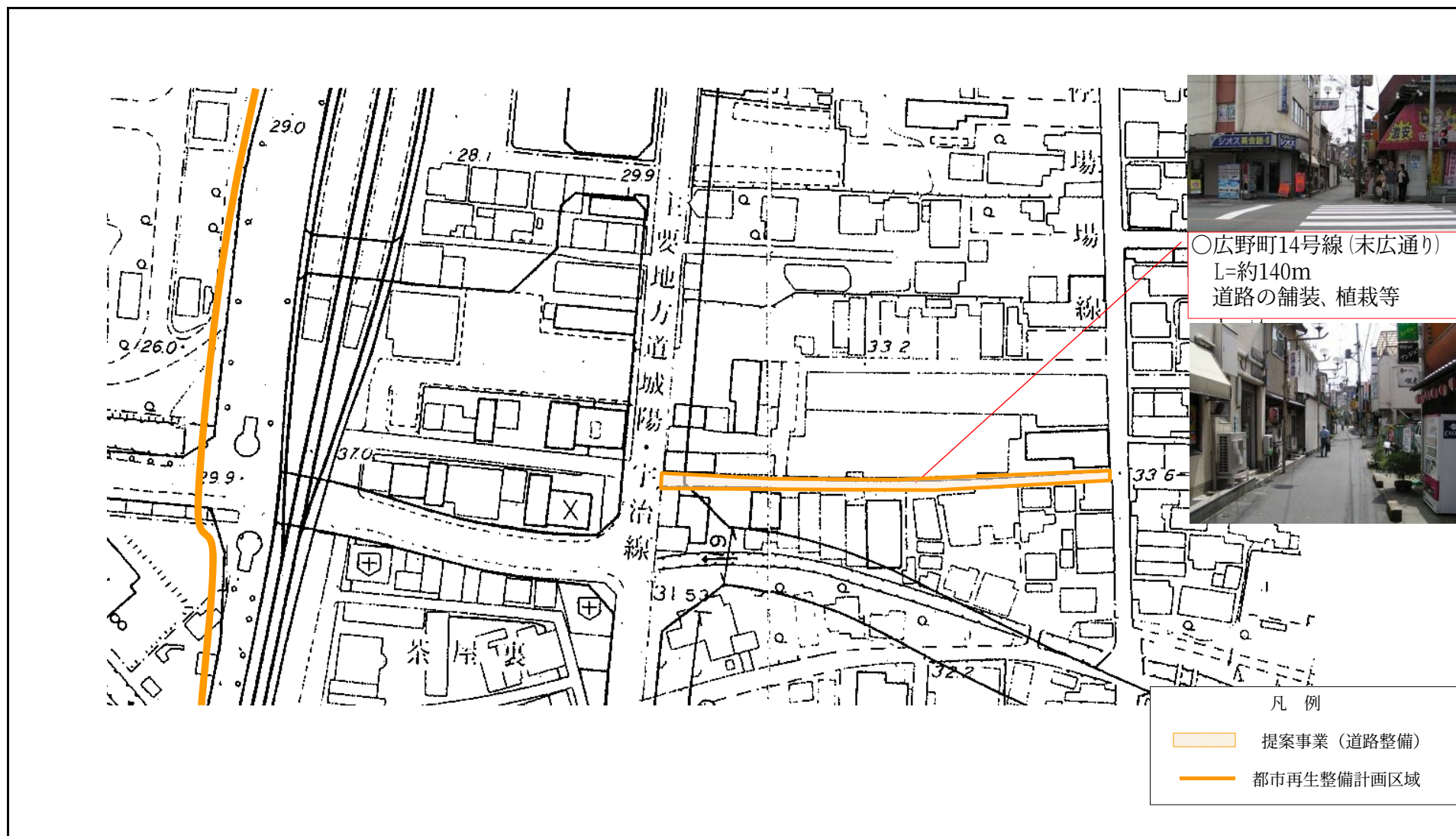
□提案事業(地域創造支援事業)
駅間誘導案内
誘導サイン 9箇所
C=800(千円)

電柱誘導タイプ
矢印式(両面表示)

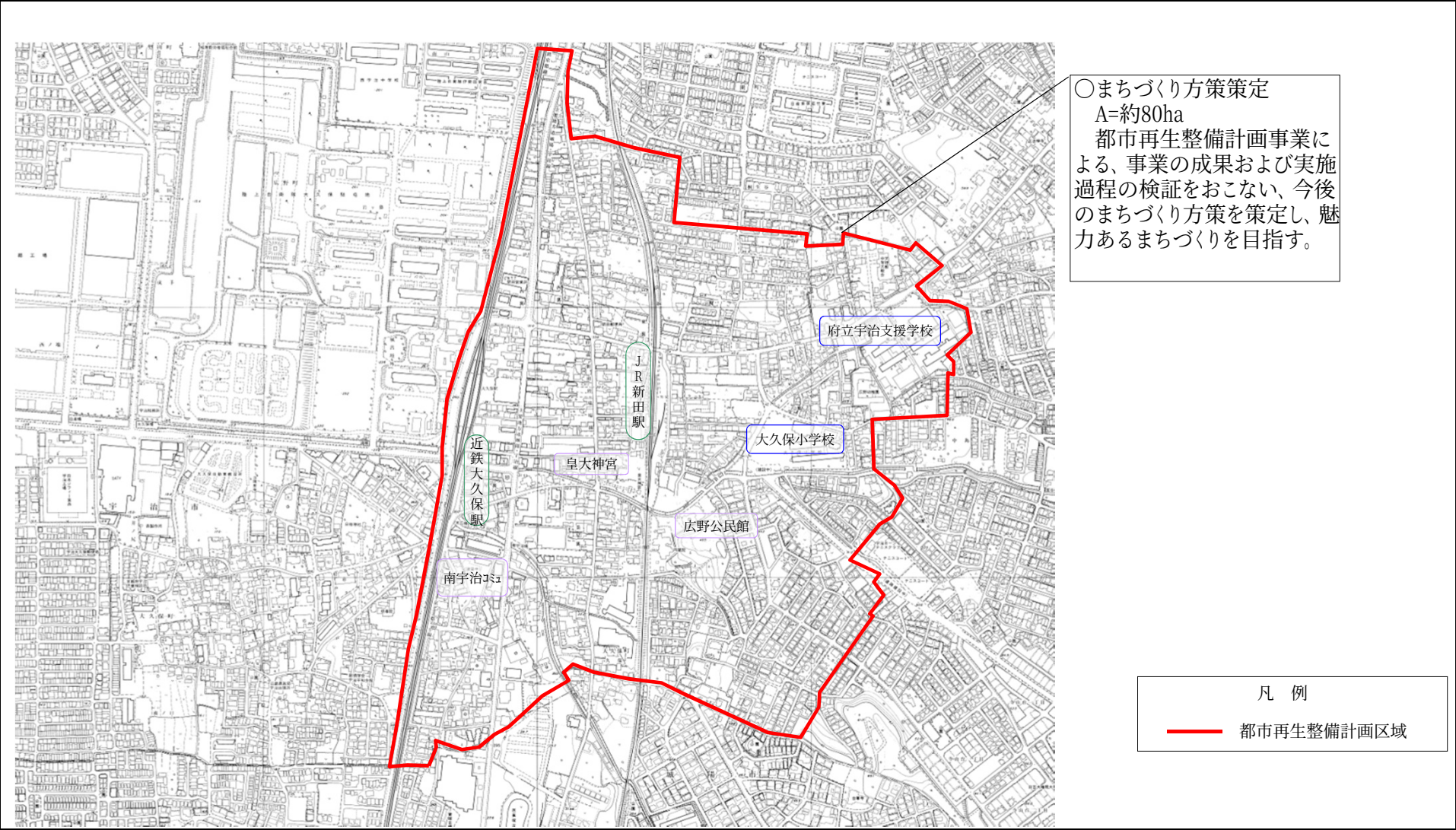
駅間誘導案内のイメージ

整備参考イメージ

⑮	□提案事業(地域創造支援事業)道路整備 広野町14号線	事業費	19百万円	事業期間	平成25年度～平成26年度
---	-----------------------------	-----	-------	------	---------------



⑩	□提案事業(事業活用調査)	まちづくり方策策定	事業費	5.3百万円	事業期間	平成29年度
---	---------------	-----------	-----	--------	------	--------



道路

都市計画道路名 又はその他道路名	区間	道路 区分	事業 主体	事業 手法	工種	延長 m	幅員		整備後 車線数	歩道 幅員	まち交 事業費	まち交における 事業期間 (年度)	事業内容	都市計画 決定	備 考
		注1)		注2)			整備前 m	整備 m	車線	m	百万円				
<道路>				－											
城陽宇治線	広野町～広野町	地	宇治市	－		46					53.2	平成24年度	歩道整備		
東裏西裏線	大久保町～広野町	地	宇治市	－		185					28.0	平成25年度	一般車両乗降場整備		
宇治淀線北側側道	～	地	宇治市	－		100		5			78.7	平成25～27年度	側道整備		
JR新田駅周辺整備	～	地	宇治市	－		55		7			17.8	平成27～29年度	一般車両乗降場整備		
広野町176号線	～	地	宇治市	－		253		12			211.3	平成28～29年度	道路整備		

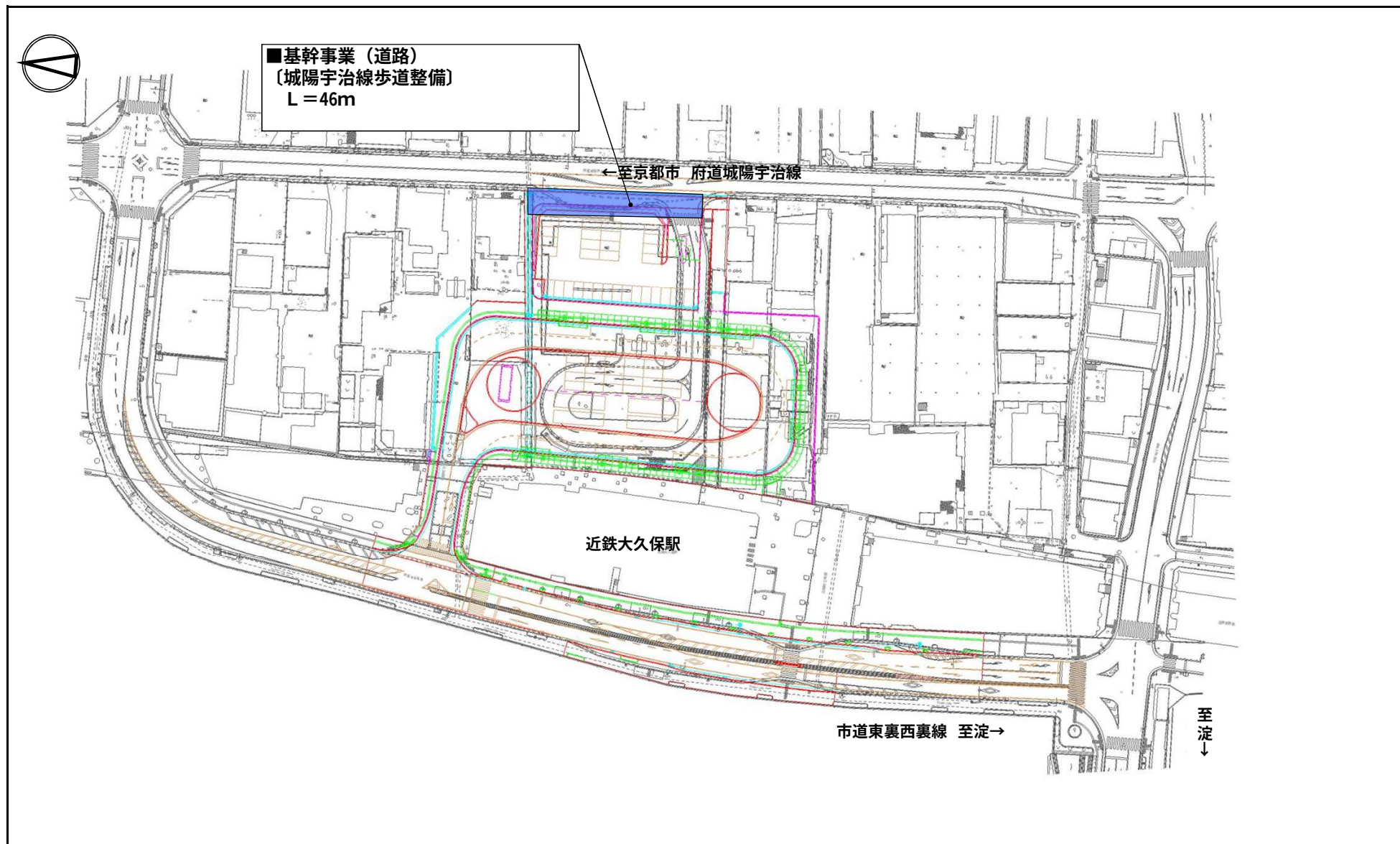
(参考)

<関連事業>															
宇治淀線		街	京都市			450		18	2	4.5			道路新設		

＊本調書には7)交付対象事業「道路」(街路、地方道、国道、その他)、イ)関連事業道路のすべてを記載すること。
注1) <道路>については、街、地、国、他の別を記載。
 <関連事業>については、国、主、一、市の別を記載。
 ただし、街：街路、地：地方道(市町村道)、国：国道、主：主要地方道、一：一般都道府県道、市：市町村道、他：いずれにも該当しないもの
注2) <関連事業>について通、交、地特、単独、促の別等を記載。補足説明すべき点は備考欄に説明を記載。
注3) 施設の構造、工法、及び地方道事業においては細工種、街路事業においては沿道区画整理型街路事業等の事業名
注4) 備考には現在の道路状況を把握するために必要なその他の事項で、交通量(人／日)、混雑度等を記載
 (例)・道路改築：交通量(人／日)、混雑度等
 ・自転車駐車場：都市計画決定の有無、面積、利用台数等
＊交付対象事業「道路」を「身近なまちづくり支援街路事業」等のいわゆるグレードアップ事業として実施する場合は、それらの計画様式を次頁以降に添付すること。
＊不足する場合は適宜行を追加すること

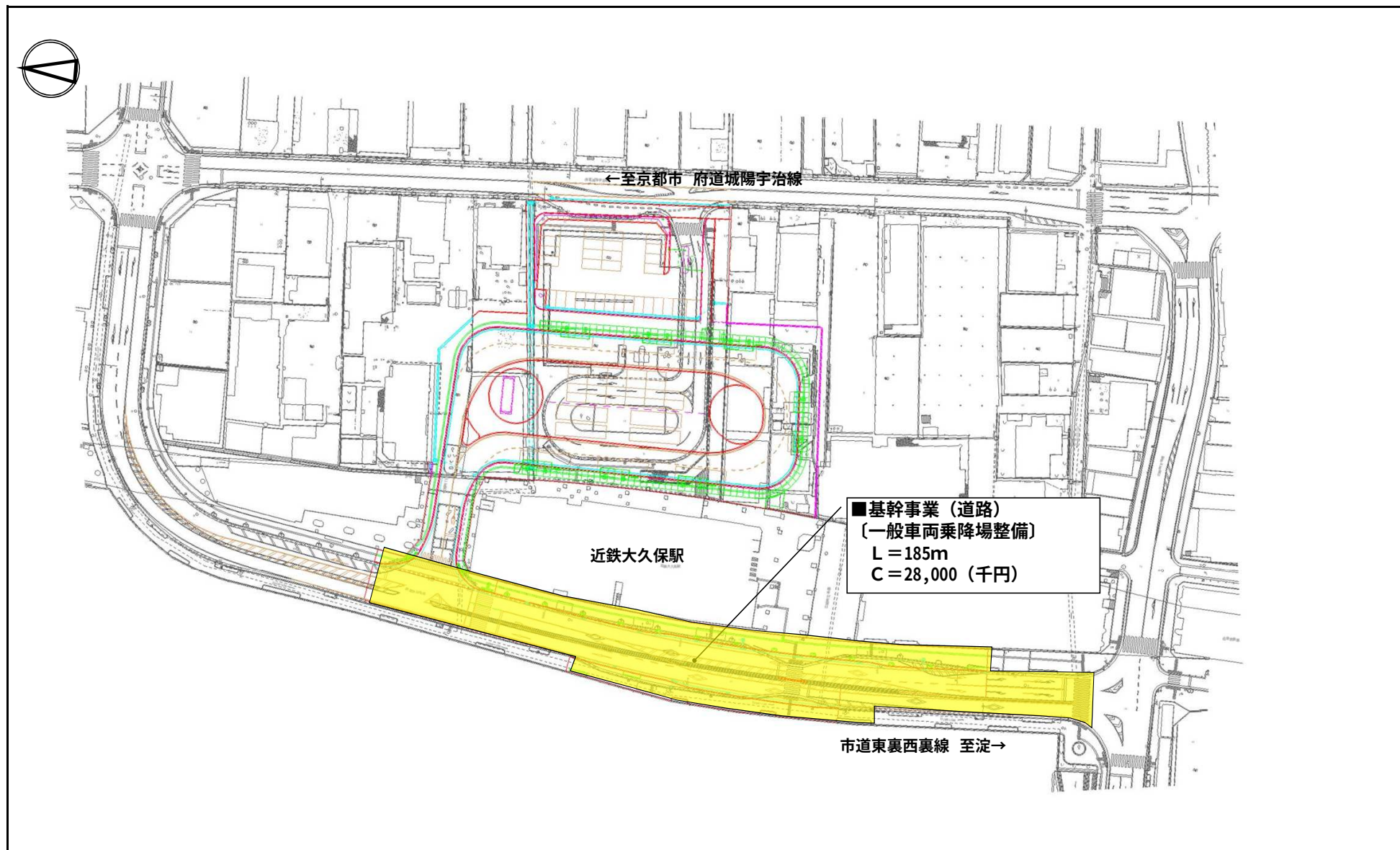
整備参考イメージ

①	■基幹事業(道路) 城陽宇治線歩道整備	事業費	53.2百万円	事業期間	平成24年度
---	---------------------	-----	---------	------	--------

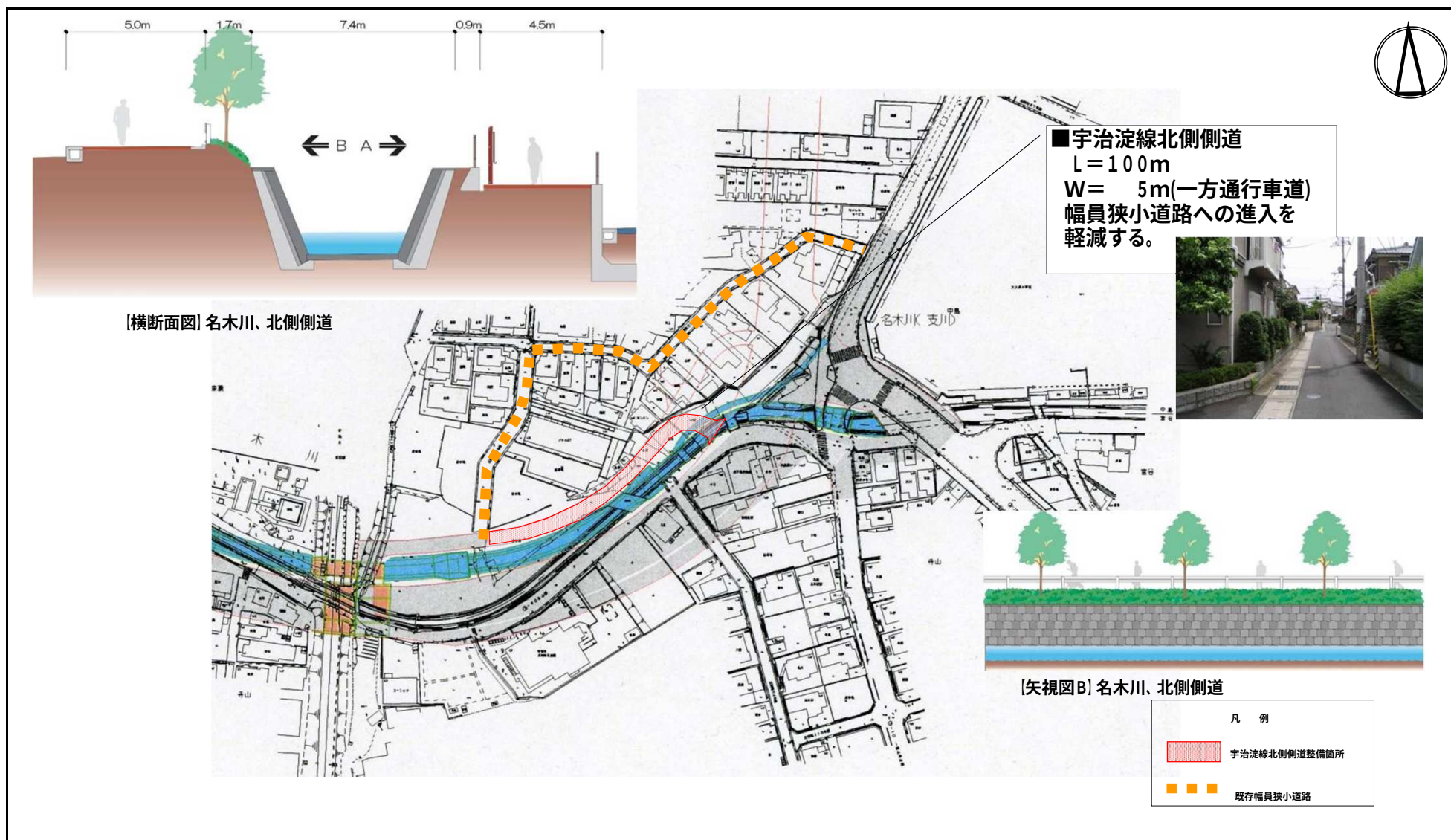


整備参考イメージ

②	■基幹事業(道路) 一般車両乗降場整備	事業費	28.0百万円	事業期間	平成25年度
---	---------------------	-----	---------	------	--------

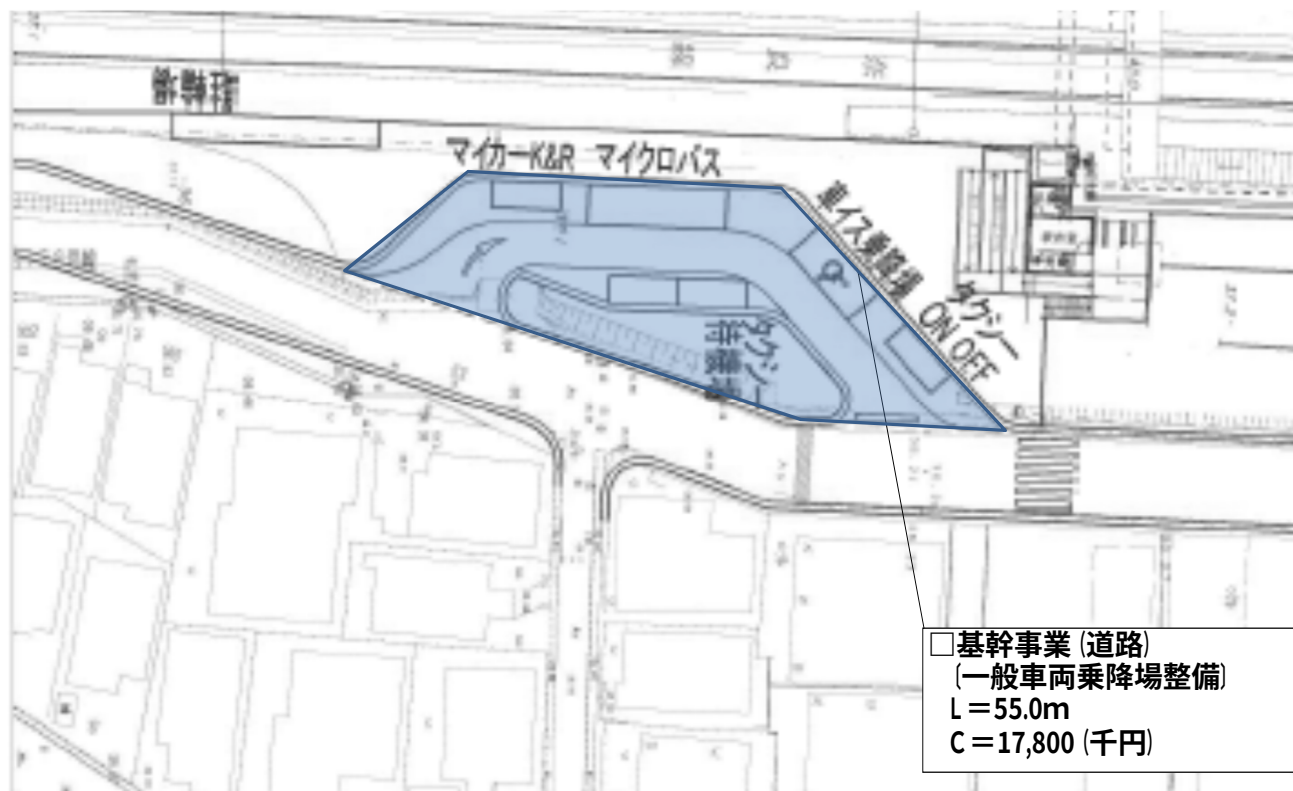


③	■基幹事業(道路) 宇治淀線北側側道整備	事業費	78.7百万円	事業期間	平成25年度～平成27年度
---	----------------------	-----	---------	------	---------------

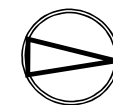


整備参考イメージ

④	■基幹事業(道路)	JR新田駅周辺整備(一般車両乗降場整備)	事業費	17.8百万円	事業期間	平成27年度～平成29年度
---	-----------	----------------------	-----	---------	------	---------------

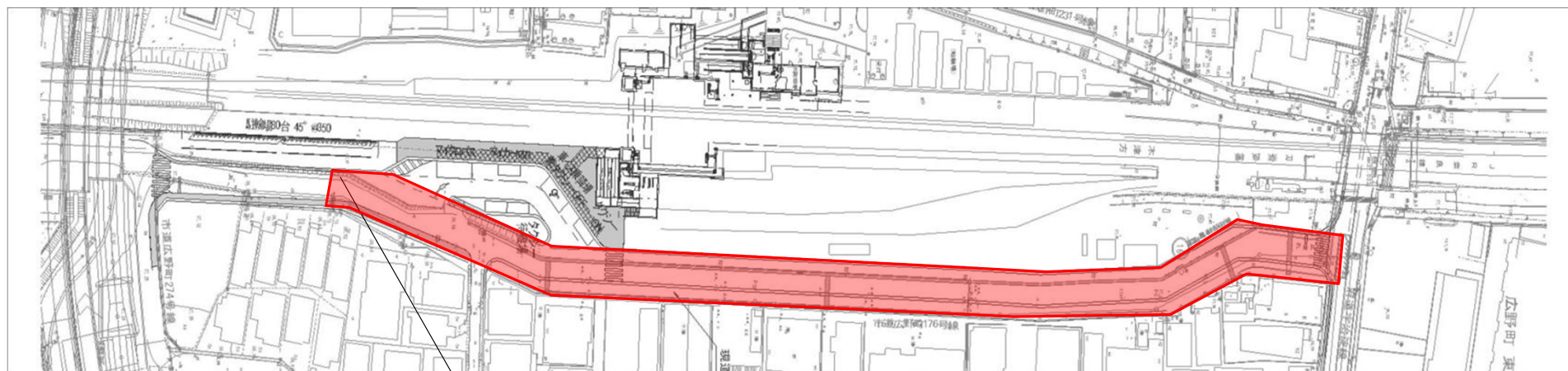
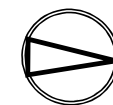


□基幹事業(道路)
(一般車両乗降場整備)
L=55.0m
C=17,800(千円)



整備参考イメージ

⑤	■基幹事業 (道路) 広野町176号線整備	事業費	211.3百万円	事業期間	平成28年度～平成29年度
---	-----------------------	-----	----------	------	---------------



□基幹事業 (道路)
(広野町176号線整備)
L = 253m
C = 211,300 (千円)



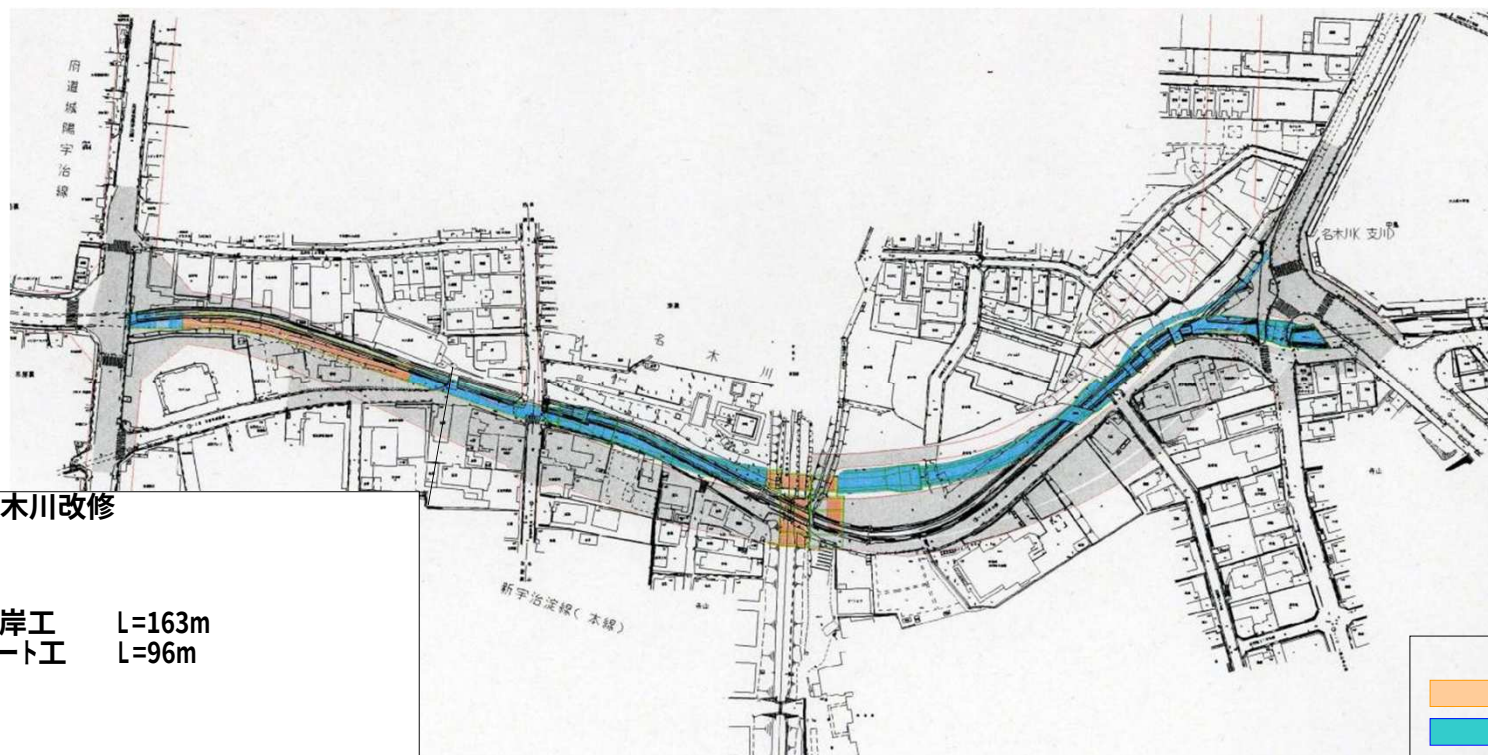
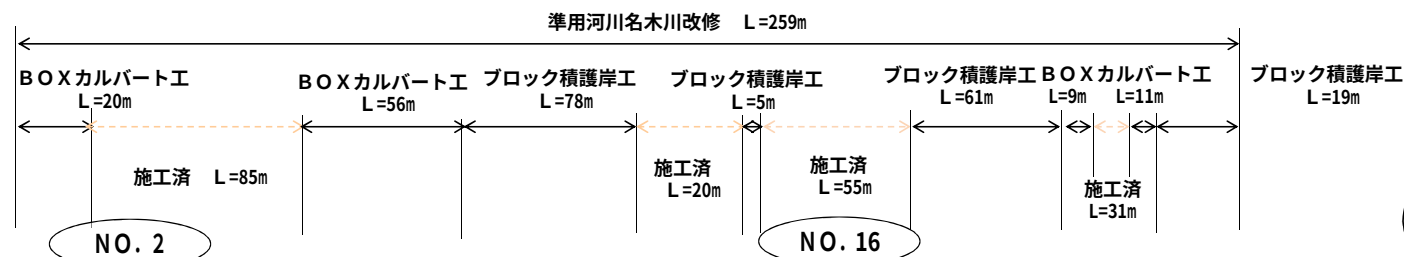
河川 (都市基盤河川改修事業、流域貯留浸透事業、総合流域防災事業実施要領第四の1の(3)に該当する事業)

事業名：総合流域防災事業(準用河川)	水系名：淀川	河川名：準用河川名木川
--------------------	--------	-------------

治水安全度	現況	1 / 3 以下		流量	現況流下能力： 9. 5 (m3／s)	
	将来	1／3 (1／10)			計画高水流量：24. 0 (40. 0) (m3／s)	
流域面積	2. 57 km2			市街化率	71. 3 %	
過去10年間の主な 出水状況・浸水被害	回数	浸水戸数	うち床上浸水戸数	面積 (ha)	気象原因	内水・溢水の別
	1	4	0	—	集中豪雨	溢 水
	1	66	5	—	//	//
	1	29	11	2. 3	//	//
事業費	総事業費		272.6 (百万円)			
	交付期間内事業費		272.6 (百万円)			
交付期間内における 整備目標及び方針	京都府が施工する都市計画道路宇治淀線を整備するには、準用河川名木川の改修が不可欠で、道路事業と一体となった改修を行う必要がある。 区間延長は、全線450mの内改修済み191mを除く、259mである。 現況の治水安全度は、年超過確率が3年以下である。 一級河川名木川との整合を図る上で、本改修区間より下流の一部に未改修区間が残るが、当該改修後の流下能力は現況の約2. 5倍に向上する。また、宇治淀線北側側道を活用し景観形成に配慮した散策道の整備を目指す。					
当該箇所上下流 の改修の状況	平成 元 年度 近鉄高架橋工事 函渠工 L=39. 6m 平成 2 年度 名木川河川改修工事(旧国道24号線下) 函渠工 L=8. 5m 平成 11 年度 準用河川名木川河川改修工事 函渠工 L=45. 0m 平成 13 年度 名木川河川改修工事 BOXカルバート L=40. 0m 平成 14 年度 JR横断街路事業 函渠工 L=20. 4m 平成 22 年度 開渠工 L=55m 平成 23 年度 函渠工 L=31m					

整備参考イメージ

⑥	■基幹事業(河川)	準用河川名木川改修	事業費	272.6百万円	事業期間	平成24年度～平成27年度
---	-----------	-----------	-----	----------	------	---------------



□準用河川名木川改修

L=259m

ブロック積護岸工 L=163m
BOXカルバート工 L=96m

凡 例

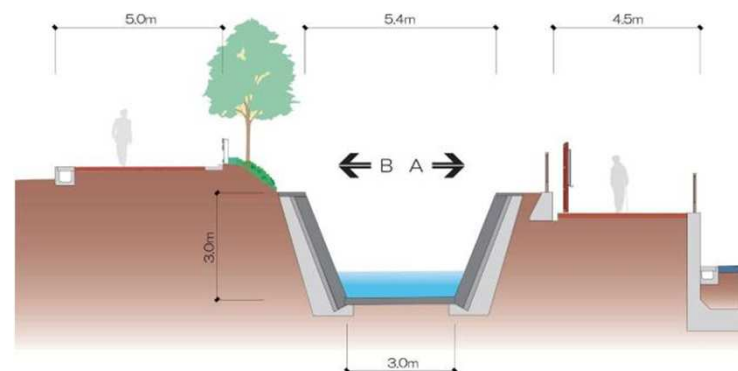
施工済区間
名木川改修箇所

整備参考イメージ

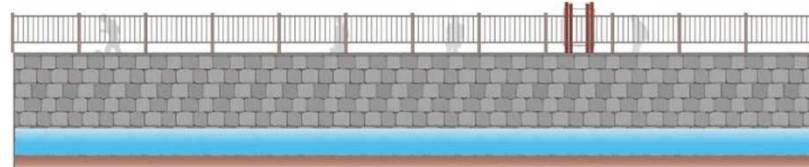
⑥	■基幹事業(河川)	準用河川名木川改修	事業費	272.6百万円	事業期間	平成24年度～平成27年度
---	-----------	-----------	-----	----------	------	---------------



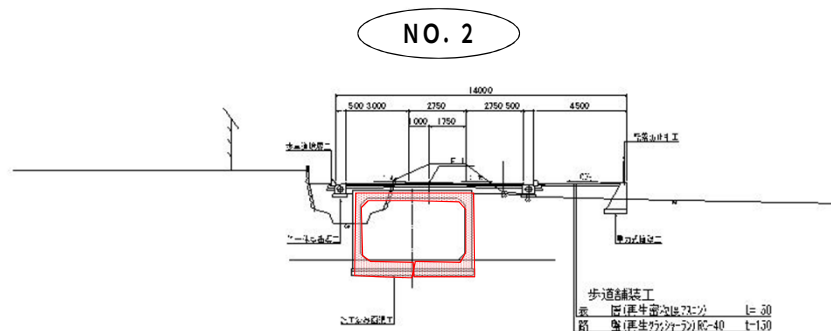
[現況写真] 上流部散策道整備済区間の状況



[横断面図NO. 16] 名木川ブロック積護岸



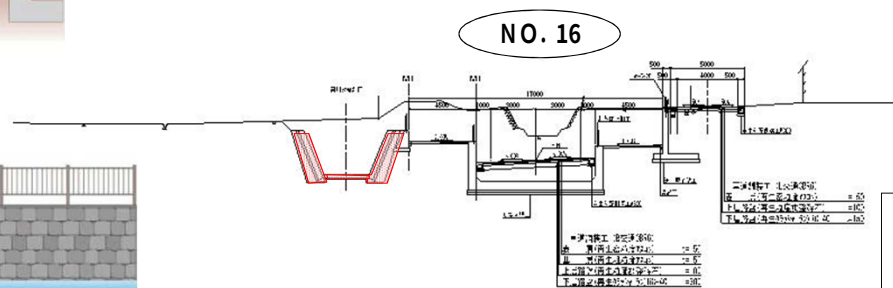
[矢視図A] 名木川、新宇治淀線歩道部



[横断面図NO. 2] BOXカルバート



[現況写真] 皇大神宮付近 名木川上流から望む



[横断面図NO. 16] 名木川ブロック積護岸

凡 例	
	名木川河川改修箇所

地域生活基盤施設

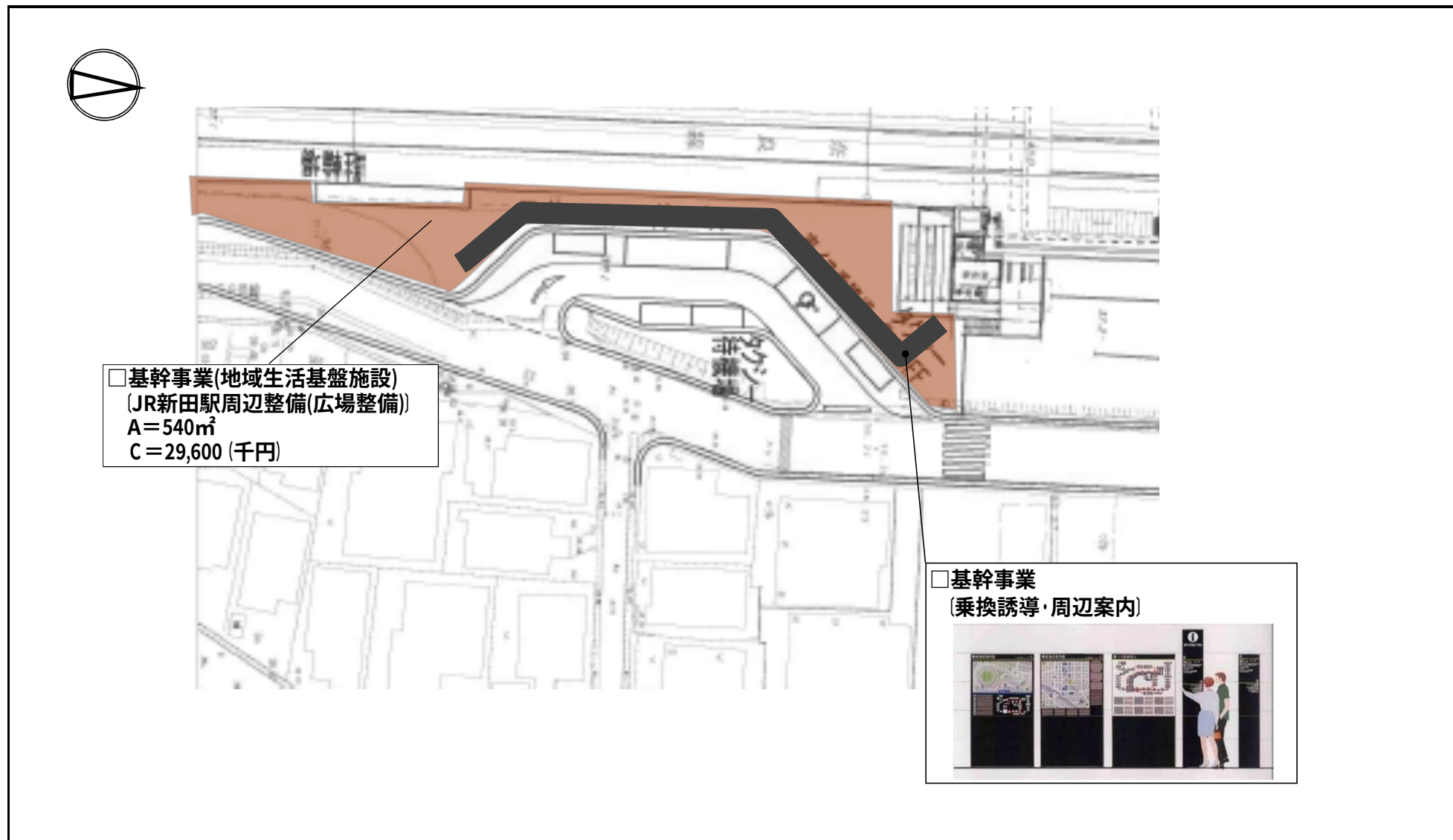
単位:百万円

交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	概要 (面積、幅員、 延長、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳				備考
					設計費	用地費	施設整備費	うち購入費	
緑地								—	
広場	JR新田駅周辺整備	宇治市	A = 540m ²	29.6	4.9	8.0	16.7	—	
駐車場									
自転車駐車場									
荷物共同集配施設									
公開空地								—	
情報板								—	
地域防災施設	施設種別:								
人工地盤								—	
合計	—	—	—	29.6	4.9	8.0	16.7		

- ・施設名ごとに1行ずつ記入。足りない場合は、適宜行を追加すること。
- ・「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。(間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。)
- ・「駐車場」、「自転車駐車場」については、「概要」欄に、形式(立体○層、タワーパーキング、地下駐輪場等)、面積及び駐車台数を記入。
- ・駐車場については、「備考」欄に駐車場全体の整備に要する費用を記入。
- ・自転車駐車場については、「備考」欄に都市計画決定の有無、自転車駐車施設整備計画における位置づけの有無、自転車駐車場に関する附置義務条例等における位置づけの有無を記入すること。
- ・地域防災施設の「施設名」欄には、耐水性貯水槽、備蓄倉庫、放送施設、情報通信施設、発電施設、排水再利用施設、避難空間等の施設の種別を記入。
- ・共同駐車場については、別の所定のシートに記載すること。

整備参考イメージ

⑦	■基幹事業 (地域生活基盤施設) JR新田駅周辺整備 (広場整備)	事業費	29.6百万円	事業期間	平成27年度～平成29年度
---	-----------------------------------	-----	---------	------	---------------



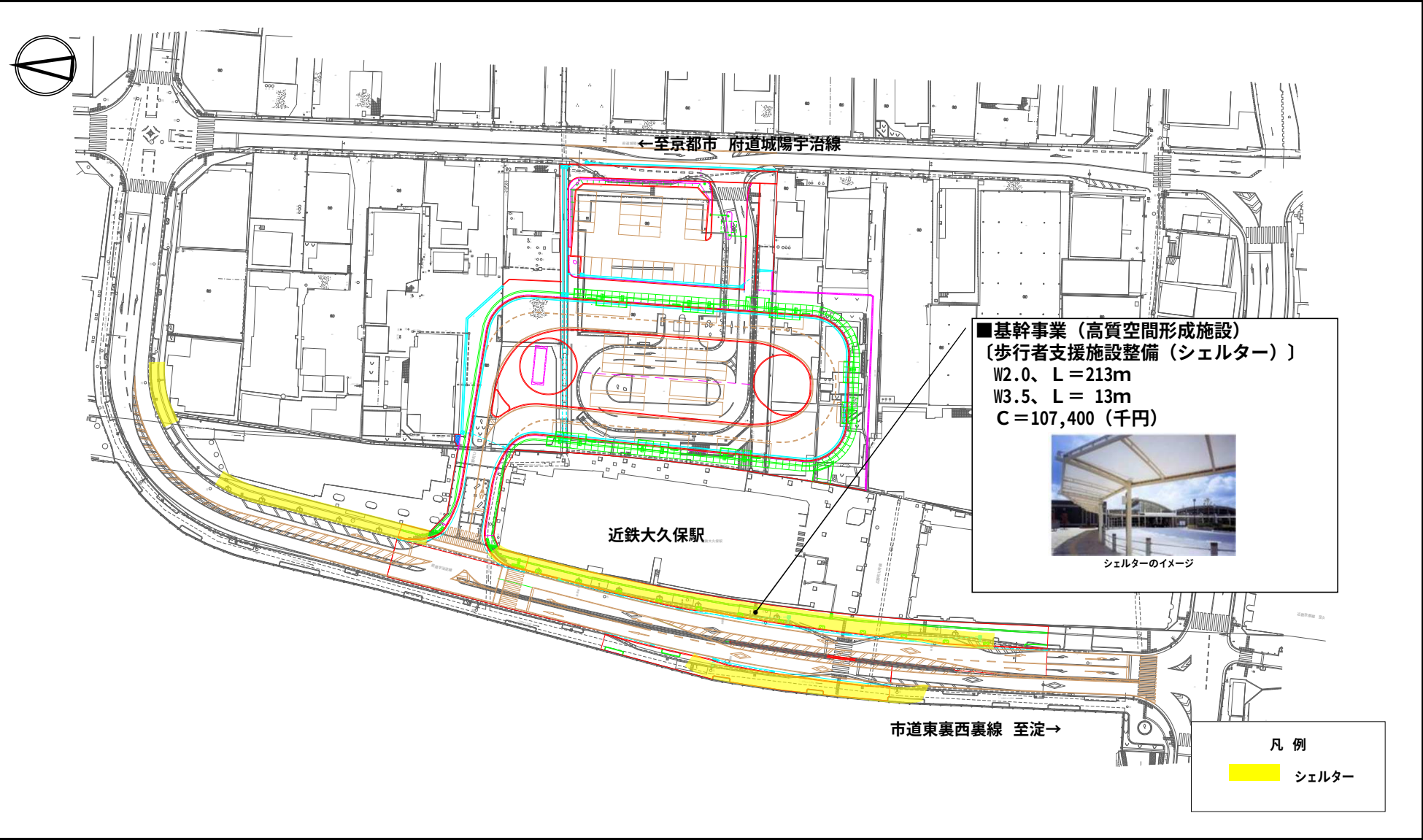
高質空間形成施設

単位:百万円

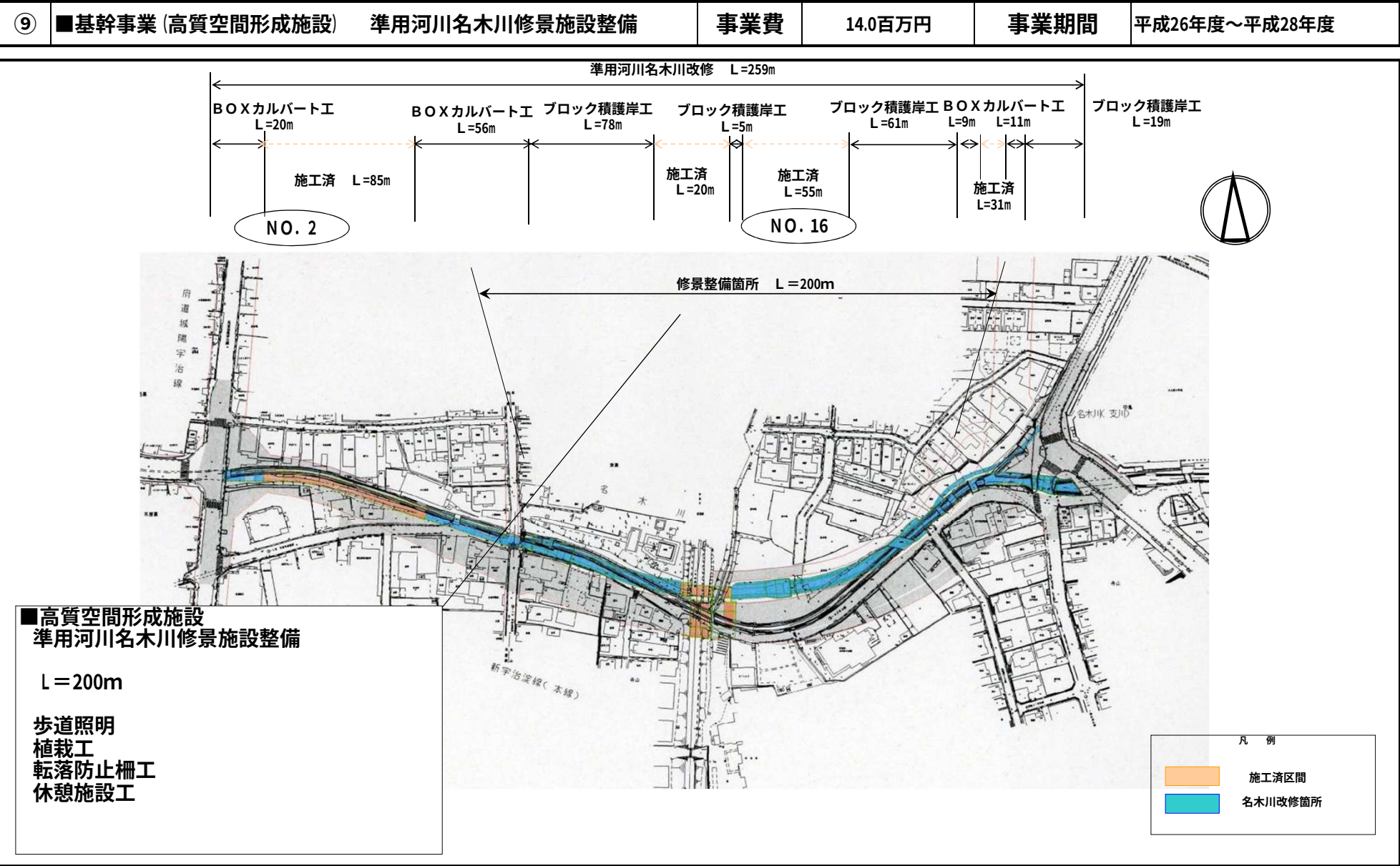
交付対象施設	施設名	事業主体	概要 (箇所数、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	用地費	施設整備費	
緑化施設等(植栽・ 緑化施設、せせらぎ・ カスケード、カラー舗 装・石畳、照明施設、 ストリートファニ チャー・モニュメント 等)	準用河川名木川	宇治市	修景施設整備 L=200m 植栽帯、歩行者照明、 休憩施設	14.0			14.0	平成26～28年度
	JR新田駅広場	宇治市	歩行者支援施設(シェ ルター)整備	32.6			32.6	平成29年度
	市道広野町176号線	宇治市	路側帯のカラー化 L=70m	5.2	2.2		3.0	平成27～29年度
	市道新田城陽線	宇治市	路側帯のカラー化 L=130m	9.0			9.0	平成28年度
電線類地下埋設施設								
電柱電線類移設								
地域冷暖房施設						—	—	
歩行支援施設、障害 者誘導施設等	市道東裏西裏線	宇治市	歩行者支援施設(シェ ルター)整備	107.4			107.4	平成25年度
合計	—	—	—	168.2	2.2		166	

整備参考イメージ

⑧	■基幹事業（高質空間形成施設） 歩行者支援施設整備（シェルター）	事業費	107.4百万円	事業期間	平成25年度
---	----------------------------------	-----	----------	------	--------



整備参考イメージ



整備参考イメージ

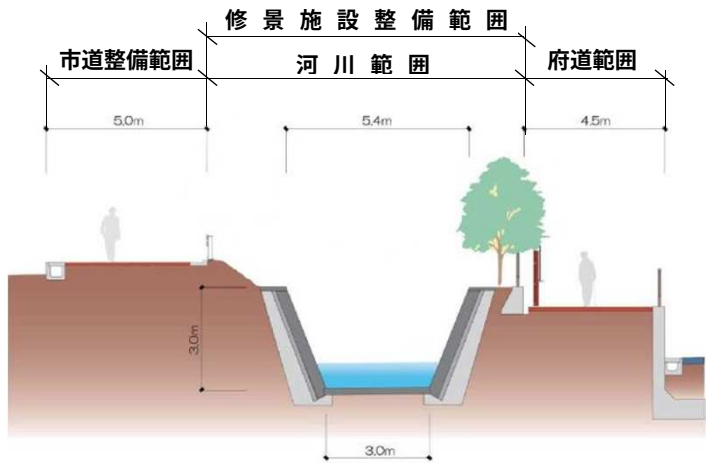
⑨	■基幹事業 (高質空間形成施設)	準用河川名木川修景施設整備	事業費	14.0百万円	事業期間	平成26年度～平成28年度
---	------------------	---------------	-----	---------	------	---------------



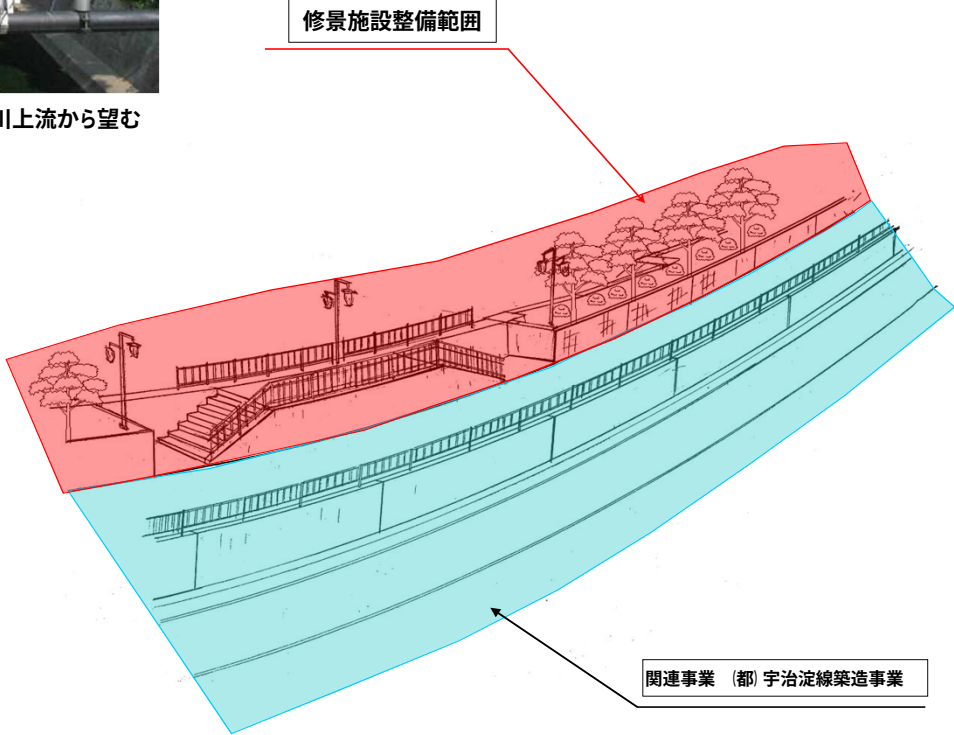
[現況写真] 上流部散策道整備済区間の状況



[現況写真] 皇大神宮付近 名木川上流から望む



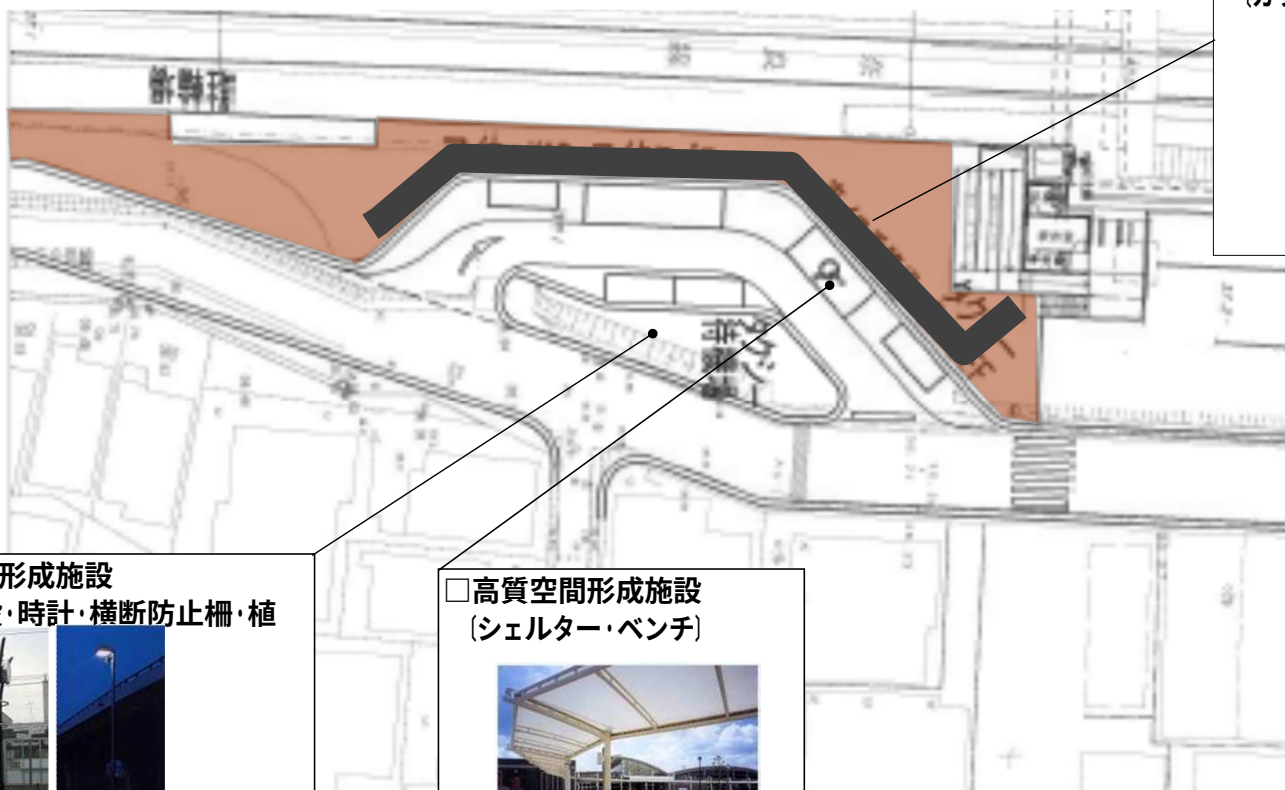
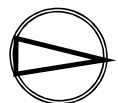
[標準横断面図]



[イメージ図] 現況写真付近

整備参考イメージ

⑩	■基幹事業 (高質空間形成施設)	歩行者支援施設(シェルター)整備	事業費	32.6百万円	事業期間	平成29年度
---	------------------	------------------	-----	---------	------	--------



□高質空間形成施設
(カラー舗装・視覚障害者誘導ブロック)



□高質空間形成施設
(照明施設・時計・横断防止柵・植栽)



□高質空間形成施設
(シェルター・ベンチ)



整備参考イメージ

⑪	■基幹事業 (高質空間形成施設) 広野町176号線整備	事業費	5.2百万円	事業期間	平成27～29年度
---	-----------------------------	-----	--------	------	-----------



☐ 高質空間形成施設
 (広野町176号線整備)
 L=70m
 C=5,200 (千円)
 路側帯のカラー化



整備参考イメージ

⑫	■基幹事業 (高質空間形成施設) 新田城陽線整備	事業費	9.0百万円	事業期間	平成28年度
---	--------------------------	-----	--------	------	--------

